



今号は、久しぶりに「諸連絡の正式な伝達手段」としての団内報です。
第11回を振り返って、および第12回へ向けて、総会と運営会議が行われましたが、そこで話し合われた内容についての御報告です。

㊦ 総会報告

実施日 3月26日(日)

参加者 6名(少ないっす! 次回は皆さん、参加お願いします!)

話し合いの内容

- 1) 演奏会の振り返りと今後の対策
- 2) 演奏会に向けての 事務スケジュール
- 3) 練習計画 (ML [dimanche 1113 参照])
 - 1) - 3) については、「プレ総会」をふまえた資料の通りでOK
 - <詳しくは、この団内報と同封で資料を送りますので、読んでね>

4) パートリーダーの確認

第11回と変わるパート

オーボエ	増尾氏
トロンボーン	検討中 (暫定窪田氏?)
チューバ	朝比奈氏

弦楽器はそのまま

(4/20時点で、チェロが未定となりました)

5) 現状の問題点と、それに対する原因分析・対策

<問題>

練習への参加率が低い

<原因>

- 1) もともとの参加人数が少ない
- 2) 雰囲気(帰属意識や団員の交流が浅い)
- 3) 継続的な活動が見えにくい
- 4) 練習場所・練習時間

<対策>

1) への対策

- a) 大学新卒者勧誘のため、大学オケに招待状を配るなど、大学オケをターゲットとした広報活動を行う。
- b) 演奏会のアンケートに「参加したい人に連絡先を書いてもらう」

- c) 人集めの担当を出来るだけ分散する。(特にVN)
- d) 現メンバーに広く呼びかけ、人集めを依頼
- e) 人の集まり状況を逐次報告し、全員が人集め状況を把握できるようにする。

2) への対策

- a) 少なくともパート内では、面通しを徹底(お互いの顔と名前がわかるようにする)
- b) 住所入り名簿を早めに作成し、配布(住所は掲載許諾者のみ)
- c) 団内報に自己紹介を載せる
- d) 懇親会(12回では1回を予定)、合宿(次回以降検討)
- e) 練習中のコミュニケーションをもっと活発に(トップが率先)
- f) トップ同志の打ち合わせをもっと活発に
出来るだけ毎回練習終了後にトップ会を開く
- g) 出欠確認を行う

3) への対策

これに関連して、ディマンシュを年1回夏に演奏会をやるという「金山オケ構想」が提起されたが、各方面からの検討の結果、年1回にすることによるリスクの方が、メリットよりも大きいと判断された。(年一回にすることによって、団員の帰属意識や、人間関係等がますます希薄になってしまう。「継続して活動しているオケ」ということが見えないと、団員としての長期的な活動にとってマイナスである)

したがって、第13回を来年冬(2-3月を予定)行うことになった。
どのような演奏会にするかは未定です。

(文責: 吉田(Cb))

㊦ 4/20 運営会議報告

<第1回運営会議>

日時: 4月20日(木) 19:30 -

場所: 四谷しんみち通りルノアール

